学校番号	T1202

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（通信）歴史総合	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	『私たちの歴史総合』（清水書院）						
副教材等	自作教材・プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近現代の日本と世界の歴史について、様々な資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、歴史に見られる課題を把握し、課題の解決を考察させる。
・文書や図像などの視覚教材を多く活用し、生徒が考察・理解しやすいよう努める。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、歴史に見られる課題について考察し、考察したことを自らの言葉で表現している。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に入れて、課題を主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間(後期中間)	結びつく世界と日本	・近世の日本と世界 ・18 世紀の中国とアジア貿易 ・18 世紀のイギリスとアジア、アフリカ ・産業革命による経済発展と社会の変化 ・世界市場の形成とイギリスのアジア進出 ・日本の開国とその影響	a:18 世紀におけるアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 b:産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。 c:18 世紀の諸国間の貿易が現代社会に与えた影響と課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 調べ学習	授業観察 振り返りシート ポートフォリオ

前期中間(後期中間)	国民国家と明治維新	・二つの市民革命と近代民主主義社会の成立 ・国民統合とナショナリズム ・明治維新期の日本と世界 ・近代国家への移行と憲法の制定 ・列強による帝国主義 ・日清戦争 ・日露戦争	a:欧米の市民革命と国民国家の形成、日本の明治維新や憲法の制定などについて理解している。日本・清・朝鮮の近代化政策と日清戦争の経緯について理解している。日露戦争の結果が世界にどのような影響を与えたのかを理解している。 b:列強の帝国主義政策が、アジア諸国やアフリカ諸国に何をもたらしたのかを考察し、自らの言葉で表現している。 c:明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題を主体的に追究しようとしている。			
	第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦 ・社会主義革命 ・国際協調体制 ・アジアの民族運動 ・大衆の政治参加 ・女性の社会参加 ・大衆社会の形成	a:ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、各国に生じた政治や社会、文化の変化について理解している。ロシアで革命が起こった背景や経緯について理解している。 b:ヴェルサイユ体制と国際連盟の課題について考察し、自らの言葉で表現している。 c:戦後の国際秩序の成立と大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題を主体的に追究しようとしている。			
前期期末(後期期末)	経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・日本の大陸進出 ・第二次世界大戦 ・アジア太平洋戦争 ・戦争が変えた人々のくらし ・戦後世界の新たな枠組み ・敗戦後の日本とアジア	a:世界恐慌への各国の対応が世界情勢に与えた影響について理解している。ファシズム勢力が大衆をひきつけた理由について理解している。 b:ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自らの言葉で表現している。 c:世界恐慌後の各国の政治的判断と大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 調べ学習	授業観察 振り返りシート ポートフォリオ

前期期末(後期期末)	冷戦と世界経済	・脱植民地化とアジア、アフリカ諸国 ・冷戦下の地域紛争 ・先進国の政治と社会運動 ・核兵器の脅威と核軍縮 ・西ヨーロッパ、東南アジアの地域連携 ・戦後の日本とアジア諸国との関係 ・高度経済成長	a:冷戦構造の形成と、国際連合を中心とする新たな国際秩序について理解している。日本の民主化と冷戦が日本に与えた影響について理解している。アジア諸国の独立運動が冷戦構造に組み込まれていく経緯について理解している。 b:冷戦が欧米諸国に及ぼした影響について考察し、自らの言葉で表現している。 c:冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題を主体的に追究しようとしている。			
	世界秩序の変容と日本	・石油危機と価値観の転換 ・アジアの成長 ・冷戦の終結 ・市場開放と経済の自由化 ・地域統合の進展と課題 ・冷戦終結後の紛争と平和への取り組み	a:冷戦の終結により、グローバル化が進み、世界構造が変化したことを理解している。 b:冷戦の終結によって、なぜ地域紛争が勃発したり、地域統合が進展したりしたのかについて考察し、自らの言葉で表現している。 c:冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題を主体的に追究しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度